

施工説明書



室内物干しユニット 「テキパ」
品番：CWF241CM（フェイスミラー付き）
CWF240CM（フェイスミラーなし）

施工店様へ

このたびは当製品をご採用いただきありがとうございました。

※この商品は一般住宅およびそれに準じる居住施設の屋内専用です。他の用途へのご使用はおやめください。

屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところには使用しないでください。

■施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、安全に正しく施工してください。

■梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。

■取扱説明書は保証書に必要事項を記載のうえ、必ずお客様にお渡しください。（施工完了後、使いかたを説明してください。）

お客様へ

製品の取り付け工事は、お客さまご自身でなさらず、専門の工事店にお任せください。
（取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。）

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、 ■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。		してはいけない内容です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。		実行しなければならない内容です。
			気をつけていただく内容です。

警告

 禁止	●石こうボード壁のみ（柱・間柱なし）の施工はしない 落下によるけがのおそれがあります。	 必ず守る	●中心部の取付穴（3か所）は、柱・間柱に 固定する 落下によるけがのおそれがあります。
	●電気製品・暖房器などを下に置くような場所 には取り付けない 火災やけがのおそれがあります。		●本商品は、室内壁取付専用商品です
	●本商品を立てかけない 変形のおそれがあります。		●本商品の取付高さに注意し、お客様が 使用しやすい高さに取り付ける 低い位置に設置すると、竿が目の前に飛び 出て、目を損傷するおそれがあります。 （推奨取付高さ：本体底辺から床面まで 約800 mm）
 必ず守る	●左右の取付穴は、必ず付属のボードアンカー を使用する 落下によるけがのおそれがあります。		

注意

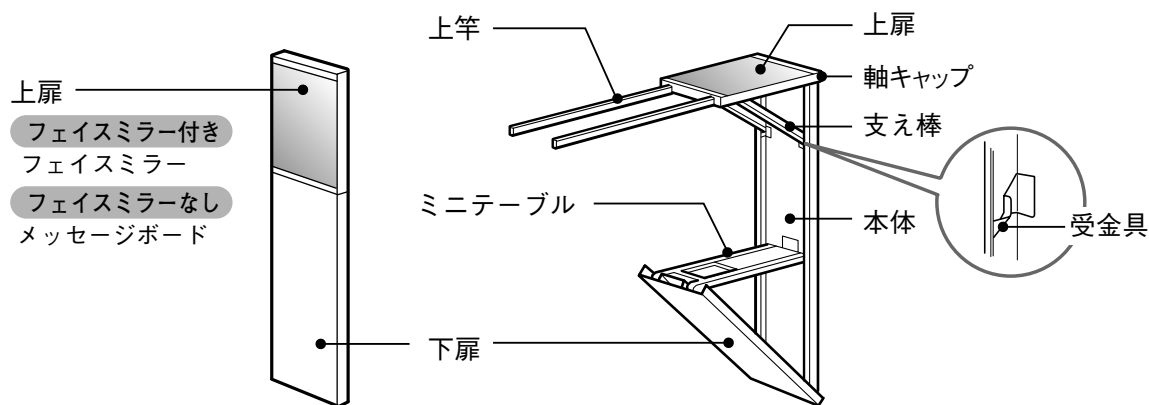
	●取付位置に注意する 出入口や人の動く場所・階段には取り付けないでください。
---	---

施工上のご注意

●本商品は必ず、柱・間柱に水平・垂直に取り付けてください。

●本商品に、扉などがぶつかる場所での設置はしないでください。

各部の名前



部材一覧

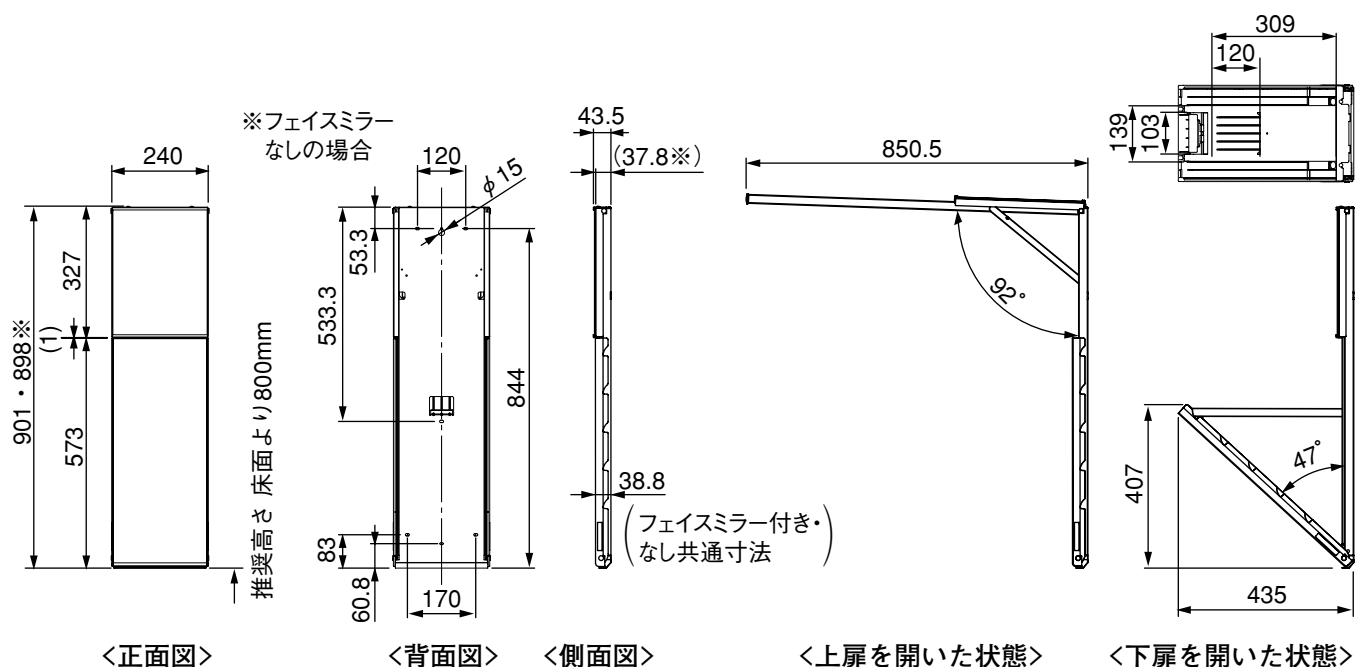
〔寸法単位:mm〕

製品	入り数	付属部品	入り数	付属部品	入り数	付属部品	入り数
本体	1	丸木ねじ φ3.8×32	3	ねじキャップ	7	施工説明書	1
		ボードアンカー (RBA412)	4	キャップ受け	7	取扱説明書	1

※付属部品以外のねじ・ボードアンカーを使用しないでください。ねじキャップがはまりにくくなる場合があります。

製品寸法図

〔寸法単位:mm〕



＜正面図＞

＜背面図＞

＜側面図＞

＜上扉を開いた状態＞

＜下扉を開いた状態＞

仕様

〔寸法単位:mm〕

寸法／重量	フェイスミラーなし W244×H898×D38.8/4.9kg	材質	本体・上竿	鋼板(ポリエステル粉体塗装)
	フェイスミラー付き W244×H901×D43.5/5.6kg		支え棒	アルミ(アクリル溶剤塗装)
上竿・洗濯物が掛けられる長さ	515	耐荷重	ミニテーブル	PS樹脂(耐薬品性グレード)
			下扉	PC樹脂(生地)
ミニテーブルの 大きさ(有効寸法)	W138×H414×D25		上竿	5kgf(約50N) 2.5kgf(25N)/本
			下扉	5kgf(約50N)
			ミニテーブル	2.5kgf(約25N)

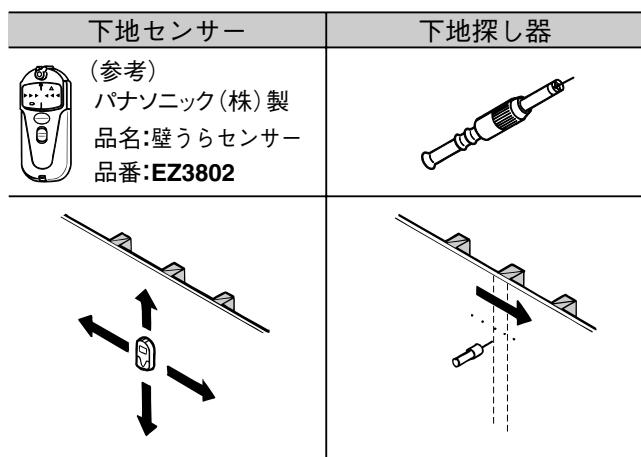
施工のしかた

注意

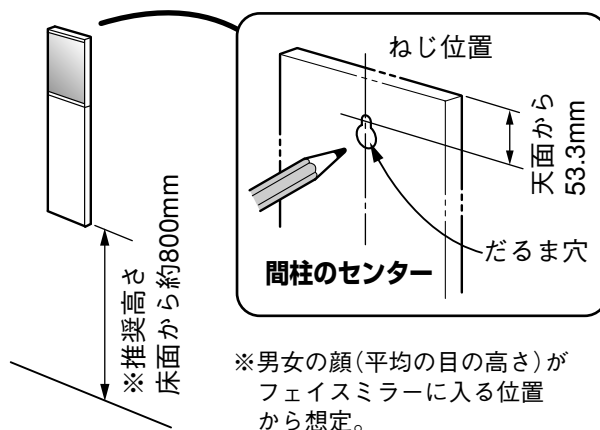
- 下記内容は木造軸組工法での取り付けかたです。RC工法の場合は付属のねじを使用せずにRC用プラグボルト(現場手配)を使用してください。(参考)RC用プラグボルト カールPCプラグ PC6-25(7本)
- お客様の身長を目安は、1500~1700 mmです。入居者が変わり、左記身長以外のお客様になった場合は、新たに取り付け直してください。
- ※上記の取付高さ±50 mmは穴が隠れますが、50 mm以上の高さ変更は別途市販の穴埋め補修部材にて補修してください。

1 取付位置を決める

1 下地センサーや下地探し器などで柱・間柱を探す。



2 取付高さを決めて、だるま穴を掛ける丸木ねじの取付位置を決める。



2 取付穴の位置を決める



警告



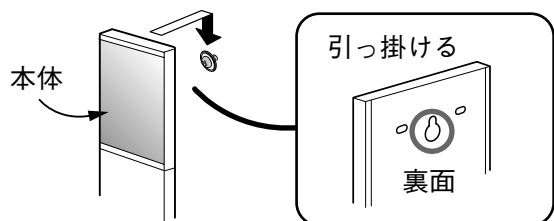
必ず守る

中心部の取付穴(3か所)は、柱・間柱に固定する落下によるけがのおそれがあります。

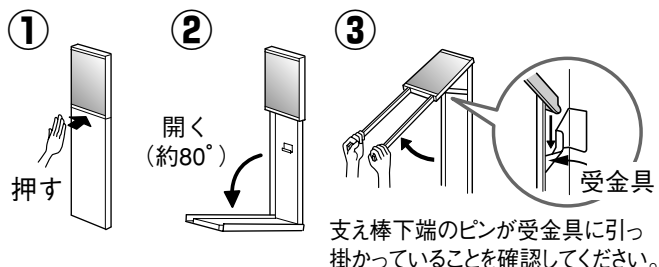
1 1で決めた取付位置に丸木ねじとキャップ受けを取り付ける。



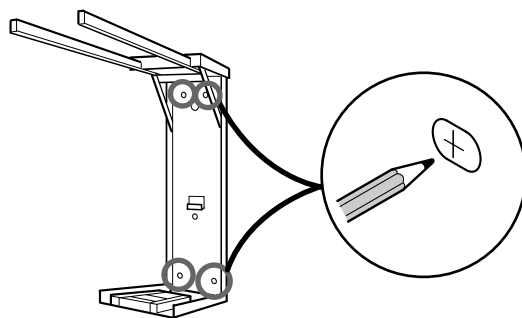
2 本体を丸木ねじに引っ掛ける。



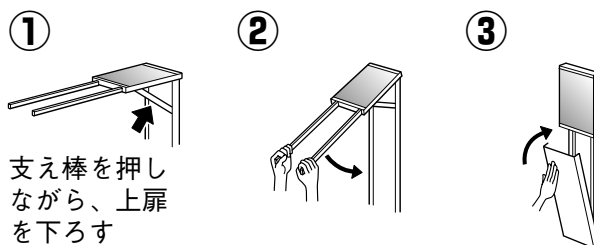
3 上扉・下扉を開く。



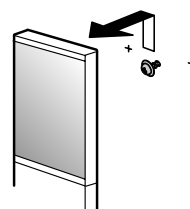
4 ねじ穴位置に印をつける。(4か所)



5 上扉・下扉を閉じる。



6 本体を取り外す。

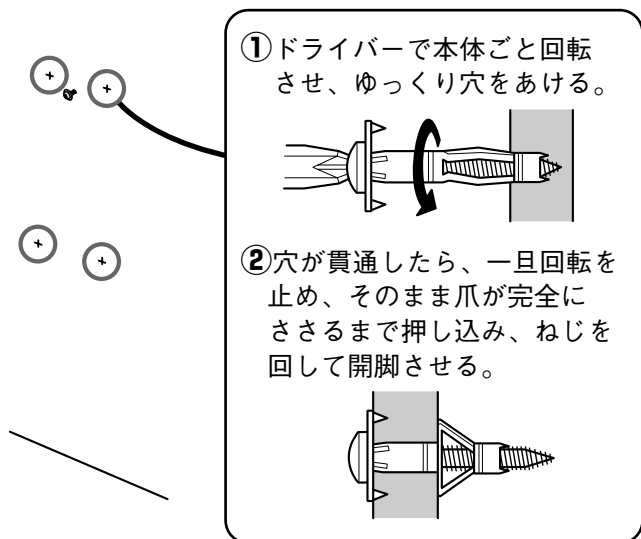


3 ボードアンカーを打つ (4か所)

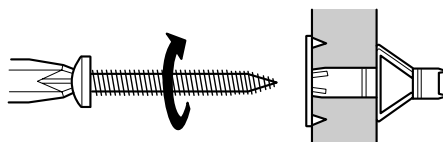
注意

壁が石こうボードでなく合板の場合はボードアンカーを使用せずに、丸木ねじ(φ3.8×32)で取り付けてください。丸木ねじを現場手配にて使用してください。

1 印をつけた位置に、ボードアンカーを打つ。



2 ボードアンカーのねじを外す。

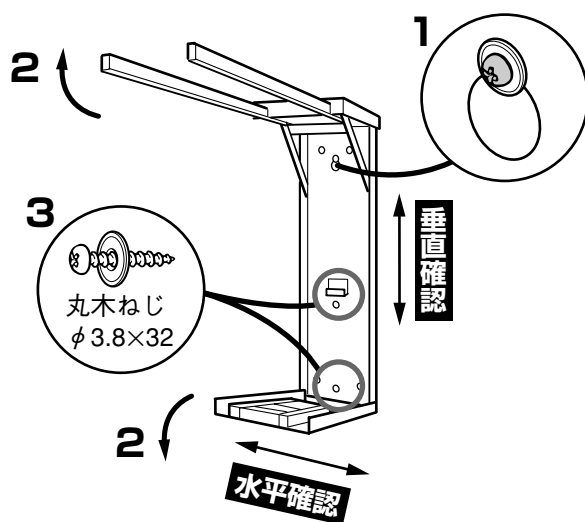


4 本体を設置する

1 本体を丸木ねじに引っ掛ける。
(本体より前にキャップ受けを出してください。)
キャップを取り付けられなくなります。)

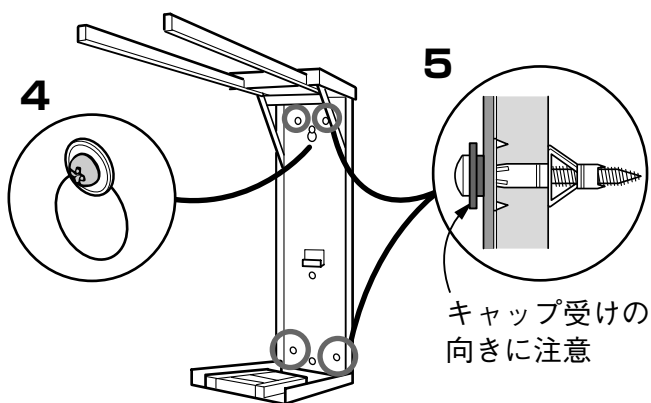
2 上扉・下扉を開く。(2-3参照)

3 丸木ねじとキャップ受けを固定する。(2か所)

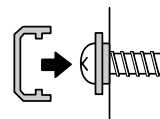


4 2-1で打った丸木ねじを本締めする。

5 3で外したボードアンカーのねじとキャップ受けを固定する。(4か所)



6 ねじキャップを取り付ける。(7か所)



7 上扉・下扉を閉じる。

施工後の確認

チェック項目	チェック
上扉・下扉はスムーズに開閉できますか？	
上扉・下扉に塗装はがれはありませんか？	
ねじキャップが取り付けられていますか？	

パナソニック株式会社 内装システムビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Corporation 2012

D1210-1042